

1 酒造好適米品種「夢の香(福島酒2号)」の育成

福島県農業試験場育種班
平成11年度春夏作試験成績概要
分類コード 01-01-01000000

部門名 水稻－水稻－育種選抜
担当者 斎藤真一・平 俊雄

I 新技術の解説

1 要旨

(1) 育成経過

「夢の香」は福島県農業試験場において、「五百万石」に替わる良質な酒造好適米品種を育成する目的で、1991年、「八反錦1号」を母、「山形酒49号」(のちの「出羽燦々」)を父として人工交配し、育成された品種である。

(2) 特性概要

出穂、成熟期は「五百万石」よりやや遅い“中生の早”である。稈長、穂長は「五百万石」より短く、穂数はやや多い。草型は“穂重型”である。いもち病真性抵抗性遺伝子は Pi-a と推定され、圃場抵抗性が葉いもち、穂いもちとも“中”である。耐冷性は「五百万石」よりやや優る“中”、耐倒伏性は“やや強”である。

(3) 品質および酒造適性

玄米は千粒重が「五百万石」並の大粒で、心白の発現が良好で外見上の品質は「五百万石」より優る。醸造適性は「五百万石」より吸水性が早い、砕米が少ないなど、原料処理がしやすい。また、製成酒は味、香味とも良好で、総合的に「五百万石」を上回る酒質である。

2 期待される効果

酒造好適米の生産安定化

3 適応範囲

「五百万石」作付け地帯

4 普及上の留意点

- (1) 「五百万石」に比べ、強稈であるが穂発芽しやすいので、倒伏を招くような極端な多肥栽培は避ける。
- (2) いもち病の抵抗性は強くないので、適期防除に努める。

II 具体的データ等

系統名		夢の香(福島酒2号)		交配組合せ	八咫鏡1号/山形酒49号		
特 性		長所 1.心白の発現が良好である。 短所 1.五百万石に比べ穂発 2.倒伏しにくい。 芽しやすい。					
普及見込面積		300 ha					
調査地		福島県農業試験場 (育成)		福島県試会津支場		福島県農業試験場	
調査年次		1997年～99年		1997年～99年		1997年～99年	
系統名・品種名		夢の香	五百万石	夢の香	五百万石	夢の香	五百万石
出穂期(月日)		8. 9	8. 7	8. 9	8. 1	8. 9	8. 7
成熟期(月日)		9.24	9.22	9.14	9.13	9.25	9.23
稈 長 (cm)		84.0	88.3	80.5	86.5	85.7	91.7
穂 長 (cm)		17.6	19.8	19.1	20.7	18.7	21.1
穂数(本/m ²)		373	350	385	386	378	362
芒の多少・長短		無	稀・短	—	—	—	—
ふ先色		黄白	黄白	—	—	—	—
脱粒性		難	難	—	—	—	—
耐倒伏性		やや強	弱	—	—	—	—
耐冷性		中	やや弱	—	—	—	—
穂発芽性		中	難	—	—	—	—
耐 病 性	遺伝子型	Pi-a	Pi-i	—	—	—	—
	葉いもち	中	やや弱	—	—	—	—
	穂いもち	中	中	—	—	—	—
玄米収量(kg/a)		59.4	58.3	67.9	69.3	64.1	61.2
収量比率(%)		102	100	98	100	105	100
玄米千粒重(g)		25.6	25.8	26.1	26.1	25.6	25.7
心白発現率(%)		83.3	73.5	—	—	—	—
心白率(%)		77.1	64.2	—	—	—	—
品質(1～9)		3.8	4.8	3.0	5.0	3.8	4.8

注1) 育成地は生産力検定本調査、そのほかは奨励品種決定基本調査標肥区。

Ⅲ その他

- 1 執筆者: 斎藤真一、荒川市郎
- 2 主な参考文献・資料: